

教育長定例記者会見 会見録

日時：令和4年5月10日（火） 13時30分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・ 三重県教育委員会が国への要望活動を実施します
- ・ 令和4年度 不登校の子どもを持つ保護者相談会を開催します

質疑事項

発表項目

○三重県教育委員会が国への要望活動を実施します

本日2点説明をいたします。

1点目は、県教育委員会が国への要望活動を実施するものです。

教育を取り巻く環境が大きく変化する中で、すべての子どもたちが安心して学びに向かうことができるよう、不登校、いじめへの対応、特別な支援を必要とする児童生徒への支援、外国人児童生徒への教育など、一人ひとりに寄り添った教育を進めるとともに、新型コロナウイルスの影響下であっても、子どもたちの学びが継続できるように、国が来年度予算の概算要求の検討を行う時期に合わせて、制度改正とか、予算の重点配分に係る提言提案、要望活動を行います。

文部科学省、文化庁、スポーツ庁に対して、5月20日に行う予定です。

要望項目は、ICTの活用、いじめ防止と不登校児童生徒への支援、外国人児童生徒への支援、教職員の働き方改革の推進、安全・安心に学べる教育環境の整備、学級編成標準の引下げと加配定数の維持・拡充、産業教育の充実、登下校時における子どもたちの安全確保、義務教育費国庫負担制度の充実、学力向上施策に対する支援、特別支援教育の推進、子どもの貧困対策の推進、学校給食・食育の充実と健康教育の推進、文化財保護事業等の拡充、それから海女漁のユネスコ無形文化遺産への登録、この15点を行う予定です。

○令和4年度 不登校の子どもを持つ保護者相談会を開催します

2点目ですけれども、不登校の子どもを持つ保護者の相談会を開催いたします。

昨年度初めて開催したものですけれども、今年度2回目になります。子どもが不登校になったとき保護者の皆さんの中には、子どもさんへの対処の仕方がわからず、悩んだり、あるいは子どもの将来に不安を感じたり、場合によっては不登校になった原因は自分にもあるのではないかと考え込んでしまうことがあります。

このような保護者が、お互いに共感し情報交換できるということと、必要な情報を得て、

適切な支援につなげることができるよう、県内8ヶ所、桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、尾鷲、伊賀市で、保護者相談会を、全9回開催をいたします。開催場所、開催日時は記載のとおりで、津庁舎で5月22日に始めまして、最後は四日市のあさけプラザで2月5日ということで、それぞれの会場で13時から16時30分まで行います。

当日の内容ですけれども、3番のところで、まず最初に講演会という形で、子育てで悩みを抱えた親としての視点、あるいは子どもと向き合ってきた経験を踏まえた講演を行います。講演をいただく方は、今のところ、お二人みえて分担をしていただいて、1人は元県立高等学校長の谷口さん、もう1人は「つうの会」の不登校・ひきこもり親の会の世話人の橋本さんです。

それから、講演会の後、保護者交流会ということで、相談会に参加していただいている保護者同士が、カウンセラーやワーカーの進行で意見交換を行うなど交流をします。そのあと、個別の相談会ということで、心理や福祉の専門家、教育支援センターの方々にご相談することができます。

参加申し込みにつきましては、申込方法として申込書に必要事項を記入し、学校または教育支援センターに参加申込書を提出していただくか、県教育委員会の生徒指導課に電子メールまたはFAXで申し込みを送付していただきます。申込期限については記載のとおりです。

発表項目に関する質疑

○三重県教育委員会が国への要望活動を実施します

(質) 要望活動の件なんですけれども、これは多分例年やってらっしゃることだと思うんですが、例えば割と今回新しく項目とか分野として加わったみたいなものってあるのでしょうか。

(答) 新しいのは、7番の産業教育の充実というのを新しく加えさせていただきました。内容的には、项目的には他は一緒なんですけれども、内容的に少し加えているところもありますけれども、項目としてはその7番のところ加わりました。

(質) 7番以外、例年要望してきたけど、あまり進めてもらえてないという感じですか。

(答) そういう部分ばかりではないんですけれども、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの、予算措置を国においても拡充されているんですけれども、さらにとこの部分と、それから、補助率の引き上げという制度的な改正を、この春においては、加えたりしています。

○令和4年度 不登校の子どもを持つ保護者相談会を開催します

(質) 相談会は例年と異なることはありますか。

(答) 例年というか、昨年度に続いて2回目です。

(質) 何か今年は工夫したとか、違うところはどうですか。

(答) 昨年度させていただいて、139名の方が出席いただきました。昨年度は6会場で6回だったんですけども、特に北勢地区で参加者が多かったり、あるいはもう少し回数を増やして欲しいという声をたくさんいただきましたので、今年度については8会場で9回実施をいたします。開催期日についても、昨年度は年度の後半になってたんですけども、5月から順次開催させていただきます。内容としては、保護者の交流の時間とか、相談の時間を、もう少しあった方がいいとの声を多くいただきましたので、全体で13時から16時30分ということで昨年度は3時間だったんですけども、ちょっと長いんですけども、全体を3時間30分という形でさせていただきます。

(質) 前は不登校ひきこもりの親の会の方まではいらっしゃらなかったんでしょうか。

(答) 見えてないです。

(質) 今回は、やっぱりそういうことで悩んでいらっしゃる方が多いということが前回わかったので、こういうプログラムを入れたってことですか。

(答) (生徒指導課長) 昨年度は、講演のところで、支援者の立場の方からお話をいただいたのですが、昨年度参加された方から、保護者の立場からのお話も聞きたいということで、このような人選になりました。

以上、13時38分終了